

北部地域 [上池袋、池袋本町]

北部地域は、人口約3万6千人、約2万2千世帯が暮らす地域です。人口密度（273人/ha）は、5つの地域で最も高くなっています。また、地域の6割から7割が、住宅系の土地利用となっています。

JR埼京線の板橋駅、東武東上線の北池袋駅、下板橋駅の3駅があり、交通利便性も高い地域です。

池袋本町や上池袋は、計画的な基盤整備が行われなままに宅地化したため、狭い道路が入り組み、住宅が密集しています。そのため、防災上の安全性を高める観点から、居住環境総合整備事業が進められており、さらに、特定整備路線として選定された補助73・82号線の整備に合わせて、不燃化特区推進事業を進めながら、安全・安心なまちへと転換していきます。

上池袋の明治通り沿道では、近年、中高層マンションの建設が相次ぎ、土地の高度利用が進み、人口の増加傾向が続いています。癌研究会附属病院の跡地では、住宅と公園を中心としつつ、防災にも配慮した規模の大きな開発が進み、平成20年4月に約4,000㎡の上池袋東公園が開設され、平成21年4月には住宅部分の整備も完了しました。これにあわせてこれまでの「癌研通り」を「宮仲公園通り」と改め、新たな街並みが形成されています。

池袋本町は、板橋宿へと続く旧道沿いに発達した旧池袋村の本村の名を受け継ぐ地域であり、村の鎮守である氷川神社や、現在では緑道として暗きよ整備された旧谷端川など、歴史を感じさせる落ち着いた雰囲気を感じられます。

平成28年9月、この地域に、旧池袋第二小学校と防災広場を合わせた敷地で、池袋本町地区校舎併設型小中連携校（池袋本町小学校及び池袋中学校）を建設しました。斬新な学校施設として街のシンボルになるとともに、教育関係者からも高い評価を受けています。

平成27年度には国立印刷局宿舍跡地で防災機能を備えた上池袋くすのき公園を開設しました。また、東武東上線とJRを跨ぐ堀ノ内人道橋は、平成23年10月に撤去が完了しました。今後、地域の交流を維持・確保するために立体横断施設の検討を進めています。

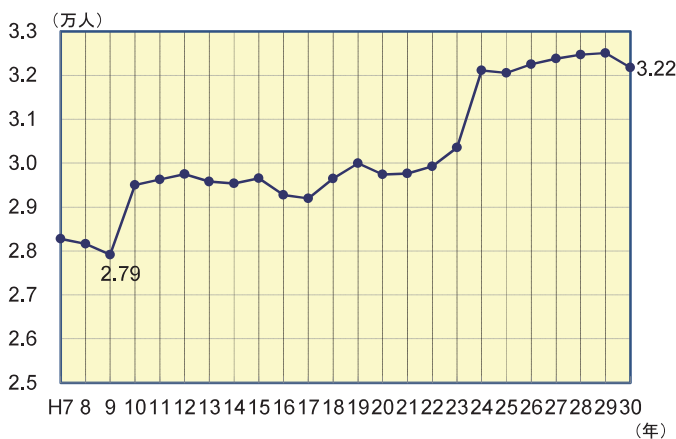


1	面積	131.7 ha
2	人口	35,902 人
3	人口密度	273 人/ha
4	14歳以下の人口の割合	9.5 %
5	65歳以上の人口の割合	19.8 %
6	外国人人口の割合	10.4 %
7	一般世帯数	21,722 世帯
8	ファミリー世帯の割合	23.6 %
9	単独世帯の割合	62.0 %
10	建築物の耐火率	62.2 %
11	一人あたりの公園面積	1.00 ㎡
12	緑被率	11.0 %

- 【2～6】 住民基本台帳〔日本人住民及び外国人住民〕（平成30年1月）
- 【7～9】 国勢調査（平成27年）
- 【10】 土地利用現況調査（平成23年）
- 【11】 公園・児童遊園現況一覧（平成29年4月）
- 住民基本台帳〔日本人住民及び外国人住民〕（平成30年1月）
- 【12】 緑被現況調査（平成28年）

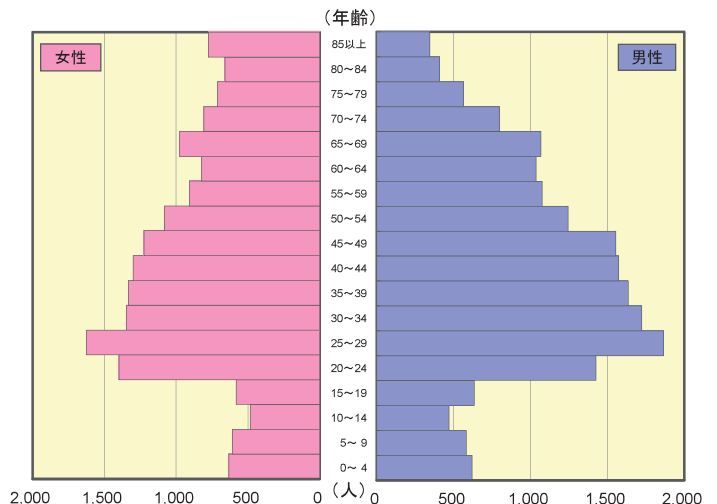
人口の推移

※人口は日本人住民のみの数



人口の年齢構成 (平成30年1月)

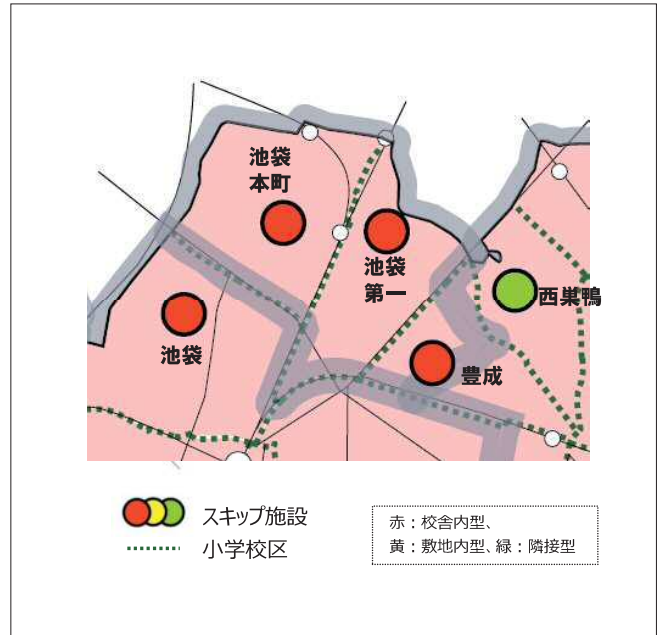
住民基本台帳 (日本人住民・外国人住民)



地域区民ひろばの展開状況

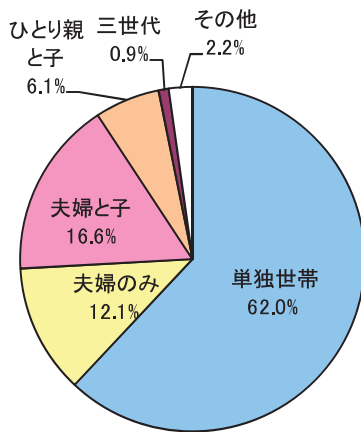


子どもスキップの展開状況



世帯の状況 (平成27年10月)

国勢調査

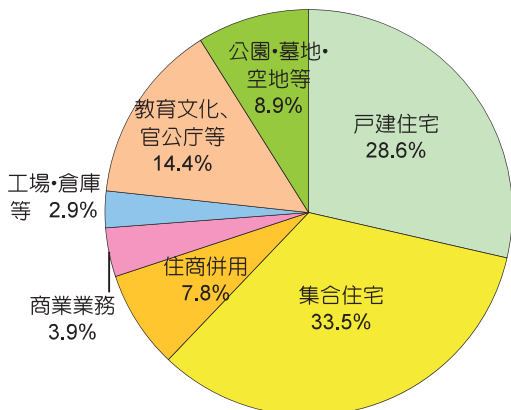


救援センターと対象区域



土地利用の状況 (平成23年)

土地利用現況調査 (豊島区)



用途別・建物床面積の変化

用途別構造別土地利用データ (東京都主税局資料)

